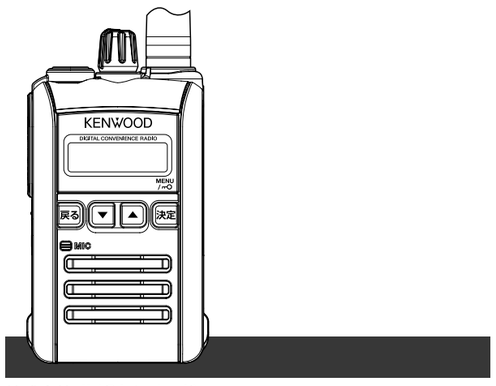
KENWOOD

TCP-D551

UHF デジタル簡易無線電話装置 (登録局)

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。
本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。



株式会社 JVCケンウッド

Radio Communication Solutions
株式会社ジャパンエニックス
JAPAN ENIX CO.,LTD.

□ 本　　社　東京都品川区南品川 2-7-18　TEL 03-5715-2351
□ 関 西 支 店　大阪市西区千代崎 1-24-11　TEL 06-6583-7700
□ 札 幌 営 業 所　札幌市東区苗穂町 3-4-18　TEL 011-733-6120
□ 仙 台 営 業 所　仙台市若林区白萩町37-25　TEL 022-290-9381
□ 名古屋営業所　名古屋市東区泉2-3-15　TEL 052-908-1440
□ 九 州 営 業 所　福岡市博多区里 1-10-50　TEL 092-432-9077

B5A-1190-30 (J)

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品および商品の取扱いに関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
- 修理などアフターサービスについては、弊社ウェブサイトをご覧いただくか、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
  http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

固定電話からは、フリーダイヤル
0120-2727-87
携帯電話・PHS からは、ナビダイヤル
0570-010-114
一部の IP 電話など、フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合は
045-450-8950
FAX を送信される場合は
045-450-2308
住所　〒 221-0022
神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付日　月曜日～土曜日（祝祭日および、弊社休日を除く）
受付時間　月～金曜日　9：30 ～ 18：00
土曜日　9：30 ～ 12：00、13：00 ～ 17：30

Radio Communication Solutions
株式会社ジャパンエニックス
JAPAN ENIX CO.,LTD.

□ 本　　社　東京都品川区南品川 2-7-18　TEL 03-5715-2351
□ 関 西 支 店　大阪市西区千代崎 1-24-11　TEL 06-6583-7700

□ 札 幌 営 業 所　□ 名古屋営業所
□ 仙 台 営 業 所　□ 九 州 営 業 所

https://www.jenix.co.jp/　営業所住所はこちら▶

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、下記の内容 (表示と意味) をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) を示しています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容 (左図の場合は電源プラグを AC コンセントから抜く) を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠危険

使用環境・条件

- 引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。
- 運転しながら本機を操作（通信）するのはおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作（通信）してください。

充電池 (バッテリーパック) の取扱いについて

充電池は下記のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

- 充電池を電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高圧容器に入れないでください。
- 充電温度範囲は、5℃～ 40℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。
- 専用充電台以外では充電しないでください。
  本機以外の機器に取付けないでください。
- 火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解しないでください。
- 端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- 液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

⚠警告

使用環境・条件

- 電子機器 (特に医療機器) の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
- 空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での無線機器の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認した上でご使用ください。
- 本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

使用方法について

- エアバック装置の近くに無線機を置かないでください。エアバック装置が動作したときなど無線機が体に当たって怪我をすることがあります。
- 機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイクロホンなどのケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。
- 本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- アンテナやストラップを持って、無線機を振り回さないでください。人に当ってけがを負わせたり、物に当って無線機が破損することがあります。
- ネックストラップを使用している場合、ネックストラップがドアや機械等に挟まれないように注意してください。怪我の原因となります。
- 高温になる場所（火のそば、暖房機のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、怪我の原因となります。
- アンテナ端子に触れているときに送信しないでください。高周波やけどの原因となります。

異常時の処置について

- 内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損した場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの、異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 落下などにより破損した部品には直接触らないでください。怪我の原因となります。
- 煙が出たら、すぐに電源を切り、電池を外し、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源を切り、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。

保守・点検

- 本機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
  お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

⚠注意

使用環境・条件

- テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
- 直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 結露した場合は、自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。
- 無線機や付属品は幼児の手の届かないところに保管してください。

使用方法について

- アンテナを誤って目にささないようにご注意ください。
- スピーカー / マイク端子には指定されたオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- 乾燥した部屋やカーペットを敷いた廊下などでは静電気が発生しやすくなります。このような場所では、イヤホンを使用した時に静電気で耳の皮膚に電気ショックを感じることがあります。静電気が発生しやすい場所ではイヤホンを使用しないか、スピーカーマイクロホンをご使用ください。
- 長期間使わないときは、電源を切り、電池を外してください。
- お手入れの際は、電源を切り、電池を外してください。
- イヤホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。聴覚障害の原因となることがあります。
- 水滴が付いたら、乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。

◆ 充電器などのオプション使用時の注意についてはオプションに付属の取扱説明書をご覧ください。

保証とアフターサービスについて

保証書（別添）
この製品には、保証書を（別途）添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間
保証期間は、お買い上げの日より **2 年間** です。

修理を依頼されるときは

異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合、設定された項目がリセットされる場合がありますので、別途お客様ご自身でお控えくださいますようお願いいたします。また、本機の故障、誤動作、不具合などによって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

保証期間中は・・・
正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。
本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は・・・
お買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

持込修理
この製品は持込修理とさせていただきます。

修理料金の仕組み（有料修理の場合は下記の料金が必要です。）
技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材などを含む場合があります。
送料： 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などをおこなうにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。	電池の容量が低下している	充電池を充電する。
		充電池を交換する。
● 通話ができない。 ●【電源 / 音量】を回しても音が出ない。	相手局とチャンネル設定が違っている。	同じチャンネル設定にする。
	相手局と通信方式が違っている。	アナログ通信方式とデジタル通信方式では交信することができません。種別コード 3 R の無線機を使用する。
	相手局とユーザーコード (UC) が違っている。	同じユーザーコード (UC) にする。
	相手局と秘話設定が異なる。	相手局の秘話設定と合わせる。
送信ができない。	受信している。	チャンネルを変更するか、LED の緑点灯が消えるのを待つ。
	スピーカーマイクロホンやイヤホンマイクの接続が外れている。	スピーカーマイクロホンやイヤホンマイクの接続を確認する。
	タイムアウトタイマー (連続送信防止機能) が働いている。	タイムアウトタイマーが機能した場合は、送信禁止時間が経過するのを待つ。
秘話設定やユーザーコード通信設定ができない。	呼出しチャンネル「呼出 1 5」になっている。	CH 1 ～ CH 14、CH 16 ～ CH 30 を使用する。
チャンネルが切り替わらない。	キーロックになっている。	キーロックを解除する。

ご使用の前に

説明上の注釈表記について

このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。

このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

電波法に関するご注意

- 本機は電波法に基づいて、特定無線設備の工事設計についての認証を取得した、デジタル簡易無線電話装置です。本機を分解・改造して使用すること、また本機裏面の技術基準適合証明ラベルを剥して使用することは、電波法により禁止されています。
- 本機では、付属のアンテナ以外に技術基準適合証明等で認証を受けたアンテナもご使用いただけます。
- 登録状の範囲を超えた運用は電波法違反となりますのでご注意ください。
- 他人の通信を聞いて、その内容を漏らすこと、または窃用することは電波法により禁止されています
- 無線局の登録（包括登録の場合には開設の届出）が行われますと、総務省より電波利用料の納入告知書が送付されて来ますので、納付期限内に電波利用料を納付してください。
- **登録局の有効期間は、登録の日から 5 年間です。再登録の申請は、登録の有効期間満了の 3 か月前から 1 か月前までの期間内に手続きを行ってください。**
  再登録を行わずに本機を使用しますと、「電波法第 110 条」により、「1 年以下の懲役又は百万円以下の罰金」に処せられます。十分ご注意ください。
- **その他、必要に応じて下記の手続きを行ってください。**
  - 登録状の記載事項に変更が生じる場合（変更登録）
  - 登録状が破れたり、汚れたり、紛失した場合（再交付申請)
  - 登録局を廃止した場合（廃止届出）
  - 友人などに登録局 (無線機) を貸出した場合（無線局の運用の特例に係る届出）
- 申請および届出の手続き、技術基準適合証明書等で認証を受けたアンテナについては、お買い上げの販売店にお問合せください。

ご使用上のご注意

- 施設の管理等により、無線機器の使用が禁止されているところでは、本機を使用しないでください。
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの電子機器の近くで使用すると、電波妨害が発生することがあります。これらの機器からは離れてお使いください。
- 本機を複数で使用する場合、近距離（約 10m 以内）で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても、電波妨害が発生することがあります。
- 通話のできる距離は地形や環境 (天候や建物などの障害物) によって短くなることがあります。そのようなときは、少し場所を移動して運用してください。
- 通話のできる距離の目安は下記のとおりです。建築物が多い地域や、自動車などの金属物体の周囲では、通話のできる距離が短くなります。
  ※送信出力 5 W 出力時
  ・市街地：0.5 km ～ 1 km
  ・見通しのよい場所：1 km ～ 4 km
- 取扱説明書の記載内容について
  販売店において、各種設定をお客さまに合わせて変更している場合があります。この場合は、各種操作方法や設定項目、表示部の表示内容などが本書の説明と異なることがあります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合せください。

免責事項について
本機の故障・誤動作などにより、利用の機会 (通話など) を逸したために発生した障害などの付随的損害については、当社は一切その責任を負いかねます。

音声圧縮 (符号化) 方式について
米国 DVSI 社の開発した AMBE (Advanced Multi-Band Excitation) 方式を採用し、本機は AMBE+2™ に対応しています。
The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos. #8,315,860, #8,595,002, #6,199,037, #6,912,495, #8,200,497, #7,970,606, and #8,359,197.

防塵 / 防水性能について

本製品は設計段階において該当する防塵 / 防水性能の試験をおこないその性能を確認しておりますが、実際の使用においては下記の条件や注意事項をお守りください。

- 防水保護 IP67 相当の防塵 / 防水性能を備えていますが、実際のご使用にあたって、全ての状況で防塵 / 防水を保証するものではありません。
- ナット付きのオプションを使用する場合は、プラグを確実に取り付けてからナットで固定してください。また、取り付ける際には、微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）を挟んでいないか、ご確認ください。
- 石鹸水、洗剤、調味料、ジュース、海水、油など水道水以外のものをかけたり、浸けたりしないでください。また、高温のお湯に浸けたり、かけたりしないでください。
- 本機の汚れを落とす際は、水に浸したり、蛇口からの水や湯を直接当てたりしないでください。
- 本機が濡れているときは防水カバーを開けないでください。
- オプションを接続するときはプラグを確実に固定してください。
- オプション自体の防塵 / 防水性能は各オプション製品により異なります。
- 充電台や AC アダプターは防塵 / 防水仕様ではありません。本機が濡れている状態では使用しないでください。
- 本機に衝撃を与えた場合は、防塵 / 防水性能に影響を与える場合があります。

本機の付属品

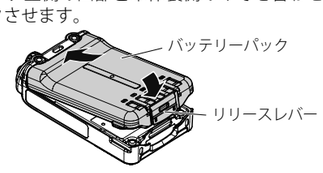
アンテナ 1
保証書 1
取扱説明書 (本書) 1

バッテリーパックについて

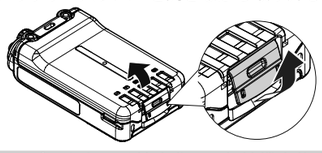
本機に使用できる充電式バッテリーパックは下記です。
・KNB-74L ..... リチウムイオンバッテリーパック（1100 mAh）
・KNB-75L ..... リチウムイオンバッテリーパック（1800 mAh）
・KNB-76L ..... リチウムイオンバッテリーパック（2200 mAh）

バッテリーパックの取り付け / 取り外し（別売品）

バッテリーパックの取り付け
バッテリーパック上側の凸部と本体裏側のみぞを合わせ、リリースレバーを本体にロックさせます。



バッテリーパックの取り外し
バッテリーパックのリリースレバーを開きながら取り外します。



◆ バッテリーパックを取り外す際は、無線機本体やバッテリーパックを落とさないように注意してください。

バッテリーパックの特性について
- 充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 低温での充電時間は、室温時より長くなる場合があります。
- 高温状態で充放電したり、無線機を使用すると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが冷えてから使用してください。冷えても使用できない場合は、一度充電してください。使用できるようになります。
- 長期間保存後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。
- 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命です。このまま充電／放電を繰り返すと、液漏れの原因になることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

バッテリー使用時間の目安（Typ値）
送信出力 5W で、送信 5/ 受信 5/ 待受け 90 の比率にて連続運用した場合
*( ) 内はバッテリーセーブの設定
・KNB-74L：約 9 時間（ON）/ 約 7 時間（OFF）
・KNB-75L：約 15 時間（ON）/ 約 11 時間（OFF）
・KNB-76L：約 18 時間（ON）/ 約 14 時間（OFF）

バッテリー残量警告
バッテリーの容量が減ると、表示部の「▭」が点滅して知らせます。送受信 LED が赤に点滅し警告音が鳴ります。早めにバッテリーパックを充電するか交換してください。

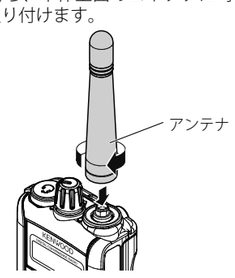
使用済み充電池の取扱い注意事項
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

Li-ion 00 充電式
不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店、当社営業担当窓口または代理店へお持ちください。リサイクルにご協力お願いいたします。

◆ バッテリーパック、充電器、AC アダプター、ベルトフックは専用品を使用してください。
◆ バッテリーパックは出荷時には満充電されていません。使用前に必ず満充電にしてください。
◆ 長時間使用しないときは、バッテリーパックを本機から取り外してください。
◆ バッテリーパックの端子をショートさせたり、バッテリーパックを火中に投じたりしないでください。また、分解しないでください。

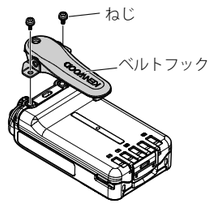
アンテナの取り付け

アンテナの根元を持ち、本体上面のコネクタに時計方向（右）に固定されるまで回して確実に取り付けます。



ベルトフックの取り付け（別売品）

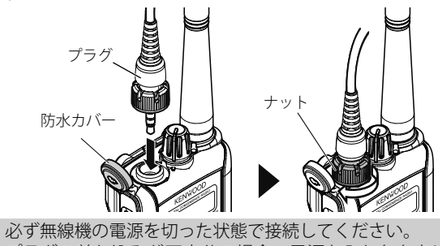
ベルトフック KBH-20 または KBH-21 と本体のねじ穴を合わせて、ベルトフックに付属のねじで取り付けます。ベルトフックを本体のねじ穴に合わせて、ねじが緩まないようにしっかり取り付けてください。



◆ 付属以外のねじを使用しないでください。
◆ ねじの緩みがないか時々確認してください。

オプション機器の接続（別売品）

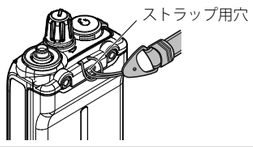
イヤホン / マイクロホンなどを接続します。
防水カバーを外して、無線機の接続端子にオプション機器のプラグを差し込み、プラグのナットを時計方向（右）に固定されるまで回して確実に取り付けます。



◆ 必ず無線機の電源を切った状態で接続してください。
◆ プラグの差し込みが不十分の場合、電源を入れたときに警告音が鳴り「コネクタ異常」と表示されます。
◆ 使用前に、オプション機器の取扱説明書をお読みください。
◆ オプション一覧に記載している専用品を接続してください。専用品以外を接続すると誤動作や故障の原因になります。
◆ プラグを取り外すときは、プラグ部をしっかり持って取り外してください。ケーブルを持って取り外すと、故障の原因になります。

ストラップの取り付け（市販品）

市販品のストラップを取り付けるときは、無線機背面のストラップ用穴を使用してください。



◆ ストラップを持って無線機を振り回さないでください。故障やけがの原因となります。

オプション一覧

本機用として下記のオプションが用意されています。
・KNB-74L ..... リチウムイオンバッテリーパック（1100 mAh）
・KNB-75L ..... リチウムイオンバッテリーパック（1800 mAh）
・KNB-76L ..... リチウムイオンバッテリーパック（2200 mAh）
・KBP-9 ..... バッテリーケース（アルカリ単 4 電池× 6 本）
・KSC-256 ..... 6 連急速充電器
・KSC-45LCR ..... 連結充電台
・KSC-45LSL ..... KSC-45LCR 4 連結用 AC アダプター
・KSC-47L ..... 急速充電器
・KMC-55 ..... スピーカーマイクロホン (防水）
・SMC-35 ..... スピーカーマイクロホン
・EMC-13 ..... イヤホン付きクリップマイクロホン（インナーイヤータイプ、ライトユース）
・EMC-14 ..... イヤホン付きクリップマイクロホン（耳掛けタイプ、ライトユース）
・EMC-15 ..... イヤホン付きクリップマイクロホン
・KHS-37 ..... ヘッドセット（耳掛けタイプ、ライトユース）
・KEP-6 ..... イヤホン（イヤーハンガー付き）
・KBH-20 ..... ベルトフック
・KBH-21 ..... ベルトフック
・KLH-203 ..... ハードケース
・KLH-210 ..... ハードケース
・KSB-1 ..... ショルダーベルト

◆ バッテリーケース KBP-9 使用時の送信出力はローパワー（1W) になります。
◆ 本機に使用できるオプションが追加されたり、生産が終了することがあります。オプションについてはカタログなどをご覧ください。

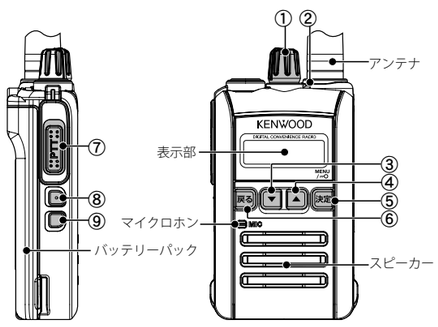
仕様

送信出力 ..... 5 W/1 W
チャンネル数 ..... 30 ch + 5 ch（受信専用上空用）
周波数 ..... 許可された 351 MHz 帯
電波型式 F1E, F1D, F1F
使用電源 ..... 7.4 V DC ± 10 %
外形寸法（突起物含まず　幅×高さ×奥行）
..... 56 × 92 × 24.6 mm（KNB-74L 装着時）
..... 56 × 92 × 29.4 mm（KNB-75L 装着時）
..... 56 × 92 × 32.8 mm（KNB-76L 装着時）
外形寸法（突起物含む　幅×高さ×奥行）
..... 59.2 × 108.9 × 28.4 mm（KNB-74L 装着時）
..... 57.3 × 108.9 × 29.8 mm（KNB-75L 装着時）
..... 57.3 × 108.9 × 33.2 mm（KNB-76L 装着時）
質量（アンテナ、ベルトフック、バッテリーパック含む）
..... 222 g（KNB-74L 装着時）
..... 254 g（KNB-75L装着時）
..... 279 g（KNB-76L装着時）
アンテナ端子（本体）..... SMA-J
防塵・防水性能 ..... IP54/55/67 相当

※仕様は予告なく変更することがあります。
※本製品は種別コード 3 R の無線機です。

各部の名称と機能

操作キー/ツマミ



①【電源/音量】
電源の ON/OFF、および音量を調節します。

② 送受信LED
送信時は赤色に点灯します。受信時は緑色に点灯します。
選択呼出し受信のときは橙色に点滅します。

③【▼】
- 押すとチャンネル番号が下がります。
- 押し続けるとチャンネルスキャンを開始します。

④【▲】
- 押すとチャンネル番号が上がります。
- 押し続けるとオートチャンネルセレクトを開始します。

⑤【決定】
- 押すと簡易メニューを表示します。
- 押しながら電源を入れると拡張メニューを表示します。
- 押し続けるとキーロック機能が ON/OFF します。

⑥【戻る】
チャンネル表示のときに押すと CH15 の呼出しチャンネル(ダイレクトチャンネル機能)に切り替わります。

⑦【PTT】
押すと送信されます。押したままマイクロホンに向かって話します。

⑧【サイド1】
- 押すと表示しているチャンネルのスキャン対象 / 非対象を切り替えます。
- 押し続けると送信出力が切り替わります。

⑨【サイド2】
セカンド PTT チャンネルが設定されている場合は、押すとセカンド PTT チャンネルを表示、押し続けるとそのチャンネルで送信します。

◆ 各キー動作機能は出荷時の設定です。販売店でのオプション設定により、動作機能は変更できます。
◆ 選択呼出し機能を使用するには販売店にて設定が必要です。

表示部

サブ表示
表示チャンネルの状態などを表示します。

メイン表示
チャンネル番号などを表示します。

出荷時の設定で表示されるアイコン

アイコン	説明
	受信している電波の強さを表示します。 :強 :中 :弱 :微弱
	バッテリー容量の残量を表示します。 :高 :中 :低 (点滅):要充電
	点灯:スキャン中。 点滅:スキャン一時停止。
	表示しているチャンネルがスキャン対象のときに表示します。
AC	オートチャンネルセレクト中に表示します。
	秘話機能が ON のときに表示します。
H L	送信出力を表示します。 H:ハイパワー出力 (5 W) L:ローパワー出力 (1 W)
R	上空チャンネル(受信専用チャンネル)時に表示します。
V	セミ VOX 機能が ON のときに表示します。
	キーロックが ON のときに表示します。
	イヤホンモードが ON のときに表示します。
PH	PTT ホールド機能が ON のときに表示します。
#2	セカンド PTT 機能が ON のときに表示します。
ATT	音量アッテネーター機能が ON のときに表示します。

販売店でのオプション設定により下記のアイコンを表示することができます。

アイコン	説明
	モニター機能が ON のときに表示します。
	メッセージの受信履歴 (スタックデータ) を表示します。 点灯:受信履歴に既読のメッセージがあります。 点滅:受信履歴に未読のメッセージがあります。
P	プライオリティチャンネルが設定されているときに表示します。
	サイレントアラーム機能が ON のときに表示します。
	サイレントアラーム動作中に受信があったときに点滅します。

アイコン表示位置
アイコンは下記のように 7 列に表示されます。また、上位列のアイコンほど表示の優先度が高くなります。

1	2	3	4	5	6	7
	#2	PH				
	P	V		AC	-	H/L
			ATT		-	R

操作のしかた

操作説明について

- 本取扱説明書の操作説明は出荷時に設定されている機能を説明しています。
- 販売店でのオプション設定により、機能は追加 / 変更できます。詳しくはご購入の販売店にお問い合わせください。

通話する

1【電源/音量】を時計方向に回して電源を入れる
「ピーッ」と鳴って電源が入ります。電源を切るには【電源 / 音量】を「カチッ」という音がするまで反時計方向に回します。

2【▲】/【▼】を押してチャンネルを合わせる

通常のチャンネルで通話する
通話する相手局と同じチャンネルに合わせます。

呼出しチャンネルで通話する
15 チャンネルを選ぶと「呼出 15」と表示されます。このチャンネルは、不特定多数の人との通話を含め、一時的な呼び出しチャンネルとなっており、継続的な通話の場合は、別のチャンネル(CH1 ～ 14、16 ～ 30)に切り替えてから通話してください。

◆ 呼出しチャンネル(呼出 15)ではユーザーコード(UC)や秘話機能などを設定した通話ができませんのでご注意ください。

相手局の電波を受信すると、送受信 LED が緑色に点灯し、スピーカーから受信音が聞こえます。

3【電源/音量】を回す
右(時計方向)に回すと音量が大きく、左(反時計方向)に回すと音量が小さくなります。

4【PTT】を押す
送信状態になり、送受信 LED が赤色に点灯します。

5 マイクロホンに向かって話す
【PTT】を押し続けながら話します。マイクロホンは口元から 3 ～ 4 cm 程度離してください。【PTT】を離すと待受受信状態に戻ります。

◆ 大きな声で話したり、マイクロホンとの距離が近すぎると、明瞭度が低下する場合があります。

バックライト
キーを操作すると表示部と前面キーの照明が 5 秒間点灯します。

タイムアウトタイマーについて
連続送信を自動的に停止する機能です。本機は、連続して 5 分以上の送信はできません。 5 分以上送信を続けると警告音が鳴り、送信が停止します。この場合 1 分以上経過しないと再度送信することはできません。

キャリアセンス(混信防止) について
送信しようとしているチャンネルを他の局が使用中の場合は、そのチャンネルでの送信を禁止する機能です。送信しようとするチャンネルが他の局に使われているときに【PTT】を押すと、警告音が鳴り、表示部に「ビジー」と表示されます。他の局が通話を終了してから送信してください。

送信出力切り替え

送信出力をハイパワー(5W)からローパワー(1W)に切り替えます。1W で通信距離が十分な場合は切り替えることで電池の消耗を少なくすることができます。また、他のグループへの混信を軽減できます。

●【サイド1】を押し続ける
送信出力がローパワー(1W)に下がります。ローパワーのときに【サイド1】を押し続けると、送信出力がハイパワー(5W)に戻ります。
- ハイパワー時は「H」が、ローパワー時は「L」アイコンが表示されます。
- スキャン動作中は、送信出力の切り替えはできません。

チャンネルスキャン

チャンネルを自動的に変化させて目的とする信号を受信できるチャンネルを探す機能です。ユーザーコードを設定しているときは、ユーザーコードが一致するチャンネルを探します。

1【▼】を押し続ける
「」アイコンが表示され、スキャンを開始します。

2【▼】を押す
スキャンが一時停止します。

スキャン対象チャンネル

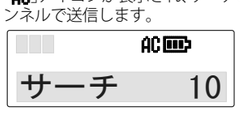
各チャンネルをスキャン対象にするか、しないかを選択できます。

●【サイド1】を押す
表示しているチャンネルがスキャン対象チャンネルのときに【サイド 1】を押すと、スキャン非対象チャンネルになります。
スキャン非対象チャンネルで【サイド 1】を押すと、スキャン対象チャンネルになります。
- スキャン対象チャンネルは、「」アイコンが表示されます。
- スキャン動作中は、スキャン対象 / 非対象の切り替えはできません。

オートチャンネルセレクト

【PTT】を押すと、空いているチャンネルを自動で探し、同じユーザーコードが設定されている受信局も自動的に同じチャンネルへ引き込む機能です。グループが多い場所での混信を緩和します。

●【▲】を押し続ける
「AC」アイコンが表示され、サーチを開始します。【PTT】を押すと空いているチャンネルで送信します。

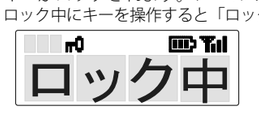


- 【PTT】以外のキーを押すと、本機能は解除されます。

キーロック

操作キーをロックし、ポケットなどに入れているときの誤操作を防ぎます。

●【決定】を押し続ける
キーがロックされます。キーロック時は、「」アイコンが表示されます。キーロック中にキーを操作すると「ロック中」と表示されます。



キーロックしているときに【決定】を押し続けると、キーのロックが解除されます。

音量アッテネート

一時的にスピーカーの音量を下げることができます。(出荷時は本機能は本体キーに設定されていません。オプションマイクロホン KMC-55 のリモートキーでのみ操作可能です。)

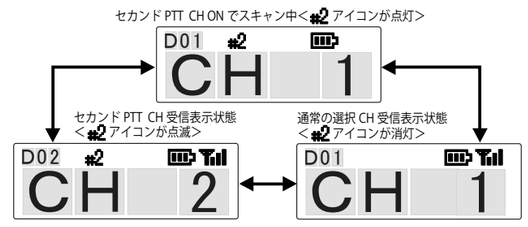
● KMC-55のリモートキーを押す
スピーカーの音量が下がります。再度リモートキー押すと元の音量に戻ります。
- 音量アッテネーター動作時は「」アイコンが表示されます。

セカンド PTT チャンネル送受信

通常の選択チャンネルとは別に、セカンド PTT チャンネルを設定し専用の PTT キーを配置できます。セカンド PTT チャンネルを設定すると、【サイド 2】がセカンド PTT チャンネル専用の PTT キーに設定されます。

セカンド PTT チャンネルを設定すると同時に、通常の選択チャンネル表示中もセカンド PTT チャンネルと交互にスキャンします。

受信信号がある場合はそのチャンネルにとどまり音声を聞くことができます。
- セカンド PTT チャンネルは拡張メニューで設定します。セカンド PTT 機能を ON にすると、「#2」が点灯し、スキャンを開始します。
- セカンド PTT チャンネルが受信状態になると、「#2」が点滅状態に変わり、受信したことを知らせます。
- 【サイド 2】を短く押すとセカンド PTTチャンネルが確認できます。【サイド 2】を押し続けるとセカンド PTTチャンネルで送信します。
- 通常の選択チャンネルが受信状態になると、「#2」が消灯します。
- 通常の選択チャンネルでの受信と区別するため、セカンド PTT チャンネルの受信時にビープ音を鳴らすこともできます。
- 通常の選択チャンネルで送信するときは【PTT】を押します。



◆ セカンド PTT チャンネルとプライオリティチャンネルが両方設定されている場合は、セカンド PTT チャンネルが優先されます。
◆ セカンド PTT チャンネルと通常の選択チャンネルが同じ場合、「ププッ」とスキャン待機トーンが 30 秒間隔で鳴り続けます。
◆ 各チャンネルがスキャン対象かどうかを確認する場合は、「」と「#2」アイコンの表示位置が同じため、セカンド PTT 機能を解除してから確認してください。

操作のしかた(続き)

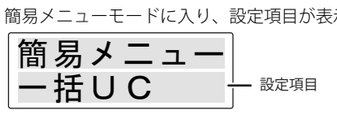
簡易メニュー

簡易メニューは下記の簡易機能を設定するメニューです。
- 出荷時は下記の設定項目が設定されていますが、販売店でのオプション設定により選択できる機能を増やすことができます。

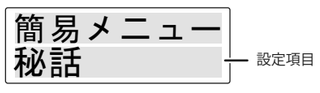
表示	設定項目	設定値
一括 UC	一括ユーザーコード(UC)	なし /1 ～ 511
秘話	秘話運用	OFF/ON
上空 CH	上空チャンネル	OFF/ON

簡易メニューの表示

1【決定】を押す
簡易メニューモードに入り、設定項目が表示されます。



2【▼】/【▲】を押して設定項目を選択する

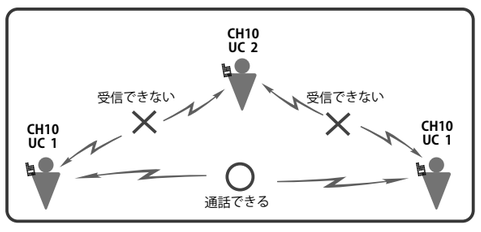


3【決定】を押す
設定値選択モードになります。

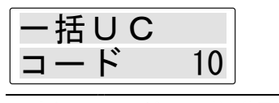
4【▼】/【▲】を押して設定値を選択する
5【決定】を押す
設定値が確定して、設定項目表示に戻ります。
6【戻る】を押す
チャンネル表示画面に戻ります。

一括ユーザーコード(UC)

ユーザーコード通信とは、同じチャンネルを複数のユーザーが使用している場合、同じユーザーコードを設定している通話グループの音声だけを聞こえるようにする方式です。



◆ 呼出しチャンネル(呼出 15)では本機能は使用できません。他のチャンネルを選んでから設定してください。

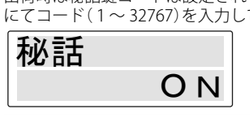


なし	ユーザーコードを使用しません。
1 ～ 511	選択した番号がユーザーコードに設定されます。

- 1桁目を選択して【決定】を押すと、次の桁の選択になります。
- 2 桁以上を表示しているときに、【戻る】を押すと 1 桁目が削除されます。
- 【戻る】を 1 秒以上押すと全桁が削除されます。
- スキャン動作中は、一括ユーザーコードの設定はできません。

秘話機能運用

秘話機能の ON/OFF を設定します。
秘話機能は、通信する相手局も秘話機能が ON で、同じ秘話鍵コードが設定されていないと正しく通信できません。
出荷時は秘話鍵コードは設定されていません、拡張メニュー「一括秘話鍵コード」にてコード(1 ～ 32767)を入力してから、秘話機能を ON/OFF してください。



ON	秘話機能が ON になります。
OFF	秘話機能が OFF になります。

- 秘話機能を ON 時は、「」アイコンが表示されます。
- スキャン動作中は、秘話機能の ON/OFF 切り替えはできません。

◆ 呼出しチャンネル(呼出15)では本機能は使用できません。他のチャンネルを選んでから設定してください。
◆ 秘話機能を使用しても、電波を使用した通信であるため、第三者による盗聴を完全に阻止できるものではありません。

上空チャンネル受信

登録局に対する上空利用割当周波数 (351.16875 ～ 351.19375 MHz(6.25 kHz 間隔)の 5 波)のS1 ～ S5 チャンネルが受信できるようにする設定です。

OFF	通常の送受信チャンネル選択になります。
ON	上空チャンネル(受信専用)が追加されます。

設定後の上空チャンネル選択時表示

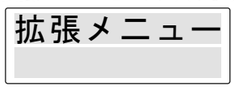
- 上空チャンネルは受信専用になります。
- 上空チャンネル受信時は、「R」アイコン(受信専用)が表示されます。

拡張メニュー

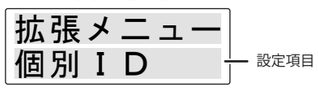
拡張メニューは無線機の詳細な設定をするメニューです。

拡張メニューの表示

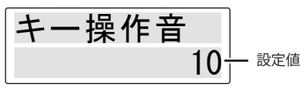
1【決定】を押しながら、電源を入れる
拡張メニューモードに入ります。



2 何かキーを押す
設定項目が表示されます。



3【▼】/【▲】を押して設定項目を選ぶ
選択した設定項目の選択リストが表示されます。
4【決定】を押す
設定値選択モードになります。



5【▼】/【▲】を押して設定値を選択する
6【決定】を押す
設定値が確定して、設定項目表示に戻ります。
7 電源を入れ直す
チャンネル表示画面に戻ります。

拡張メニュー設定項目

表示	設定項目	設定値	説明
個別 ID	個別 ID	1 ～ 65519	選択呼出し機能を使用する場合に、各無線機に ID 番号(自局 ID)を設定します。 ● 1 桁目を選択して【決定】を押すと、次の桁の選択になります。 ● 2 桁以上を表示しているときに、【戻る】を押すと 1 桁目が削除されます。 ●【戻る】を 1 秒以上押すと全桁が削除されます。 ◆ 選択呼出し機能を使用するには販売店にて設定が必要です。 ◆ 個別 ID 番号は、他の無線機と重複しないように設定してください。
キー操作音	キー操作音	OFF/1 ～ 31/ 受信音連動	キーを操作したときにビープ音の音量を設定します。数字が大きいほど音量が大きくなります。 「受信音連動」に設定すると【電源 / 音量】の位置と連動して音量が変化します。
一括秘話鍵	一括秘話鍵コード	なし /1 ～ 32767	秘話コードを設定します。秘話機能の ON/OFF は簡易メニューで設定します。 ● 1 桁目を選択して【決定】を押すと、次の桁の選択になります。 ● 2 桁以上を表示しているときに、【戻る】を押すと 1 桁目が削除されます。 ●【戻る】を 1 秒以上押すと全桁が削除されます。
マイクタイプ	外部マイクロホンタイプ	設定なし / マイク 1 ～ 6	無線機に接続されるオプションの外部マイクロホンのオーディオ特性を均一化し、デジタル処理に最適な状態に補正することができます。 マイク 1:EMC-13、マイク 2:EMC-14、マイク 3:EMC-15、マイク 4:KMC-55、 マイク 5:KHS-37 に対応します。マイク 6 は予備です。(SMC-35 を接続時は「設定なし」にします。)
受信 AGC	自動音量制御	OFF/ 低 / 高	受信音に強弱がある場合、現在の【電源 / 音量】の位置に応じて自動的に一定のレベルに調整されるため、送信側の入力レベルに強弱がある場合に音声が聞き取りやすくする効果があります。 ◆「高」に設定すると、送信側の小さな音も大きくなるため、送信側が静かな環境のときに使用することをお勧めします。
送信 AGC	自動マイクゲイン制御	OFF/ON	送信する際の声の大きさや口元からマイクロホンまでの距離などによって、送信音量が大きく変わり、受信側で聞きづらくなってしまうことがあります。この機能を使用すると、マイクロホンの感度が自動的に調整されて、受信側での音声が聞きとりやすくする効果があります。 ◆ 周囲の騒音が大きい場合は、マイクロホン感度の自動調整ができないことがあります。このような場合は、なるべくマイクロホンに近づいて大きな声で発声するか、OFF でご使用ください。
受信音特性	受信オーディオイコライザー	フラット / 低域強調 / 高域強調	使用状況や好みに応じて、スピーカーに出力する音質を切り替えることができます。
送信音特性	送信オーディオイコライザー	フラット / 低域強調 / 高域強調	使用状況や好みに応じて、マイクに入力されるオーディオ特性を切り替えることができます。
終話告知音	終話告知音	OFF/ON	送信者が【PTT】を離して送信を終了したことを、受信者に音で知らせる機能です。受信者は、送信者が送信を終了したことが音でわかるため、返事を返すタイミングがつかみやすくなります。
通話告知音	通話開始告知音	OFF/ON	【PTT】を押して送信したときに、通話が可能な状態になったことを送信者に音で知らせる機能です。通話の頭切れを防ぐために使用します。
外マイク感度	外部マイクロホン感度	-20dB(低)～ 0dB(標準)～ 6dB(高)	スピーカーマイクロホン使用時など、外部マイクロホンの感度を変更することができます。2 ステップ毎に変更できます。
内マイク感度	内部マイクロホン感度	-20dB(低)～ 0dB(標準)～ 6dB(高)	内蔵マイクロホンの感度を変更することができます。2 ステップ毎に変更できます。
2nd PTT CH	セカンド PTT チャンネル	なし /Channel 1 ～ 30	チャンネルを選択するとセカンド PTT 機能が ON になり、スキャンを開始します。
2nd PTT BEEP	セカンド PTT ビープ音	OFF/ON	セカンド PTT チャンネル送受信時に通常の選択チャンネルと区別するためビープ音を鳴らします。
2nd PTT TIME	セカンド PTT スキャン再開時間	2 秒 /5 秒 /10 秒	スキャン停止後、受信信号がなくなってからスキャンを再開するまでの時間を設定します。
縦倍角設定	縦倍角メニュー表示	OFF/ON	メニューの設定項目を縦倍角(32X16)で大きく表示できます。 ● 縦倍角メニュー表示設定は電源を入れ直した後に反映されます。
イヤホン切替	イヤホンモード	OFF/ON	通常モノラルイヤホンを接続した場合は、無線機の【PTT】は使用できませんが、イヤホンモードを ON にすると、無線機の【PTT】を使用することができます。(モノラルイヤホンは弊社推奨製品を使用してください。) ● イヤホンモードが ON のときは「」が表示されます。 ◆ 専用オプションや推奨モノラルイヤホン以外のプラグを挿入すると無線機、およびイヤホンを破損する場合ありますのでおやめください。 ◆ 専用オプション以外を接続している場合は端子部は防水にはなりません。 ◆ 推奨モノラルイヤホンについて弊社ウェブサイトをご覧ください。
PTT HOLD	PTT ホールド	OFF/ON	通常は送信するときは【PTT】を押し続けますが、本機能を ON に設定すると、【PTT】を一度短押しすれば【PTT】を離しても送信が継続します。送信をやめるときはもう一度【PTT】を短押します。
セミ VOX	セミ VOX	OFF/ON	送信中はハンズフリー運用できます。誤送信や頭切れを防ぐため、【PTT】の短押しで送信を開始し、通話中に音声入力がなくなると自動的に送信を終了します。 ● PTT ホールドとセミ VOX が両方 ON の場合は、PTT ホールド動作が優先されます。 ◆ 周囲の騒音などにより、マイクロホンへの入力がなくならない場合は、【PTT】を短押して送信を終了します。
電池セーブ	バッテリーセーブ	OFF/ON/eco	電池の消耗を防ぐ機能です。信号を受信するか、キー操作するとバッテリーセーブは一時的に解除されます。「eco」に設定すると、送信出力がローパワー (1W) になり、より電池の消耗を防ぎます。 ● バッテリーセーブ機能動作中は受信音声が頭切れになることがあります。
拡張初期化	拡張メニュー設定初期化	はい / いいえ	拡張メニュー設定を初期化すると、拡張メニューで設定されている内容は全て出荷時の状態に戻ります。
全初期化	全設定初期化	はい / いいえ	全設定を初期化すると、設定されている内容は全て出荷時の状態に戻ります。販売店にてオプション設定がされている場合は、販売店の出荷設定に戻ります。

◆「拡張メニュー設定初期化」や「全設定初期化」を操作したときは、初期化が終了し、「拡張メニュー」の表示に戻るまでは電源を切ったり、バッテリーパックを取り外さないでください。

販売店オプションで追加できる主な機能
●チャンネルごとの UC、秘話・スキャン対象設定、任意のチャンネルネームが設定可能　●チャンネル読み上げ機能
●カスタマイズ可能なパワーオンメッセージ機能　●本体および KMC-55(オプションスピーカーマイクロホン)のキーカスタマイズ設定　●選択呼出し機能
●サイレントアラーム機能　●コネクトアンサー機能　●子機間通話禁止機能　●モニター機能　●エマージェンシー機能　●簡易メニュー項目設定機能など

© 2017 JVCKENWOOD Corporation